

輸出事業計画

申請者名：有限会社渡辺水産、品目：冷凍蒸しホタテ貝

1. 輸出における現状と課題

現状

現状は業務用1kg包装のみの製造ラインとなっているが、現地からはコンシューマーパックの需要がある。背景としては新型コロナウイルスによる生活様式の変化に伴う、現地でのネット通販の拡大や冷凍流通網の整備、高品質な日本産をPRした商品の需要の高まりがある。

しかし、当社の包装ラインは、HACCP認証ラインとしては脆弱で、包装ライン上の結露やサビ等の顕在化したリスクがある。コンシューマーパックをするにはライン環境の整備が必須となっている。

課題（共通）

【生産・製造】

現在のHACCP包装区域は、簡易的なビニールカーテンでの区分けのみで、交差汚染対策が不十分である。

包装ライン上の機械装置は清掃ができない構造で微生物汚染リスクが高い。

③既存の計量方法では現地のコンシューマーパック等の少量化ニーズに対応する事が難しい。

【流通】

特になし

【販売】

現地の最新情報を把握する事が困難で、現地商談会や販売促進活動においても、準備不足な点がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

新たにHACCPに適した自動計量包装機とHACCP対応の区分け整備を施した施設改修をする事で課題を解決する。

課題解決に向けた取組内容（共通）

【生産・製造】

HACCPコンサルタントのアドバイスを受け、HACCPに対応したラインを作り、令和5年4月には新しい包装ラインでの更新審査を受け、対米HACCPの維持を図る。

設置する機械包装機に関しても洗浄しやすい物とし、微生物汚染リスクのないものにする。

③少量化のニーズに対応できる計量包装機を導入する。

【流通】

特になし

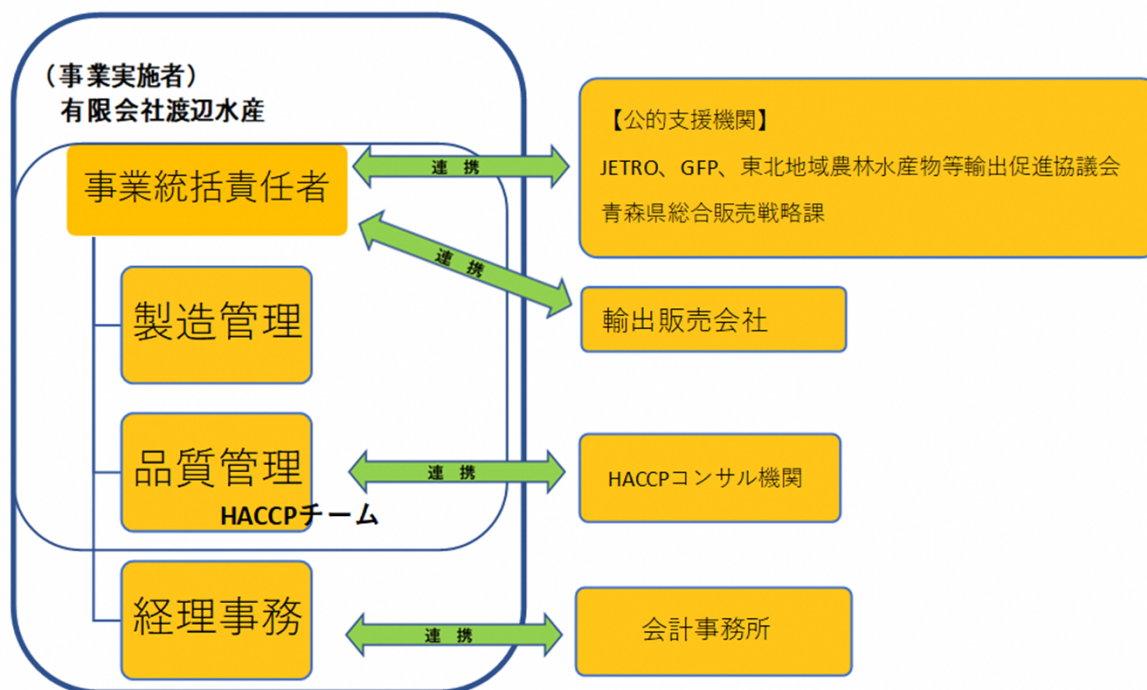
【販売】

公的支援機関（JETRO、GFP等）と連携し、最新の現地需要を把握するとともに、積極的に商談会等へ参加し、顧客の要望に沿った提案をできるようにする。

輸出事業計画

申請者名：有限会社渡辺水産、品目：冷凍蒸しホタテ貝

3．輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4．輸出目標額

(輸出品目：冷凍蒸しホタテ貝)

		現状 (2021年8月期)	目標年 (2027年8月期)
むつ湾地区	輸出額(千円)	64,873	120,000
	輸出量(t)	49	100
	輸出先国	中国・台湾・アメリカ	中国・台湾・アメリカ
	取扱量(t)	約1200	約1200